

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもサポート教室「きらり」清須校		
○保護者評価実施期間	令和6年11月1日		～ 令和6年12月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	18	(回答者数) 17
○従業者評価実施期間	令和6年11月1日		～ 令和6年12月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年2月15日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個別療育で利用者様に合わせた支援を行っていること。	<ul style="list-style-type: none"> 一人ひとりの発達段階や課題を踏まえた支援プログラムを準備し、提供しています。 指導員同士で支援内容について検討したり、お互いに相談し合ったりしております。 利用者が楽しく興味を持って取り組めるような教材を探したり、手作りしたりしております。 	<ul style="list-style-type: none"> 職員が自己研鑽をすることで支援レベルの向上を図る。 支援プログラムの多様化のために、情報収集を行う。
2	丁寧なフィードバック、保護者対応ができること。	<ul style="list-style-type: none"> 十分に時間をとり、支援内容のフィードバックの他、利用者様についての情報共有、保護者様の困りごとの聞き取りを行っている。 支援の見学をしていただき、利用者様の様子を見てもらったり、特性を踏まえた関わり方を見てもらったりしています。 	<ul style="list-style-type: none"> より一層、相談援助に力を入れ、「支援級か普通級か」等で迷われている保護者様に有用な情報提供を行います。 今年度なかなか行なうことが難しかった保護者会の開催。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者様への情報提供と、情報の周知に改善の余地がある。	<ul style="list-style-type: none"> 外部イベントやセミナー等の情報は主に事業所内に張り紙をしていたが、それだけでは効果的に保護者様へ届いていなかった。 地域の社会資源や学校、就労事業所等についての知識が不十分である。 	<ul style="list-style-type: none"> 外部イベントやセミナーの情報を張り紙だけでなく、全体LINEの配信等の方法でも行うようにする。 様々な機関とコンタクトをとり、見学等を通して知識を得、保護者様へ情報提供を行う。
2	外部機関との連携。	<ul style="list-style-type: none"> 送迎をやっていないこともあり、外部機関（特に小学校）との接点がほとんどない。 就学への移行支援についての知見が不十分である。 	<ul style="list-style-type: none"> 担当者会議の開催を働きかける等することで、外部機関との接点をつくる。 幼稚園や保育園へのお見学会を増やす。 就学への移行についてのノウハウを構築する。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名		公表日 令和7年2月15日					
こどもサポート教室「きらり」清須校		利用児童数 18				回収数 17	
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	15	2	0	0		
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	16	1	0	0	混雑時は職員が足りないと感じる。	混雑時でも利用者様が安心・安全に過ごせるよう、フィードバックのやり方や職員配置の最適化を考えます。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	13	2	1	1		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	16	0	1	0		
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	17	0	0	0		
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	16	0	0	1		
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	17	0	0	0		
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	17	0	0	0		
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	17	0	0	0		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	16	1	0	0		
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	6	2	4	5		時間的な制約もあり、今のところそのような機会を作れておりませんが、ニーズがあれば検討をします。
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	17	0	0	0		
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	17	0	0	0		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	9	2	1	5		支援後のフィードバックの時間に、情報提供や出来る限りのアドバイスをさせていただいております。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	17	0	0	0		
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	15	1	0	1		
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	17	0	0	0		
18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	4	7	2	4		以前は「ママカフェ」という保護者会を毎月実施しておりましたが、今年度は開催が出来ず、個別に対応させていただいておりました。今後、保護者様への支援のあり方を事業所内で検討し、実施したいと考えております。	

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	14	0	0	3		
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	16	1	0	0		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	10	3	1	3		ホームページやInstagram等で定期的に更新し掲載しております。今後より清須校の活動を知っていただくための工夫をまいります。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	15	1	0	1		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	15	0	0	2		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	7	2	1	7		年に数回、避難訓練を実施しております。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	13	1	0	3		契約時に非常災害時の避難場所や対応を説明しております。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	13	0	0	4		支援中に何かがあった場合、速やかに保護者様に連絡をするようにしております。また事業所全体で共有し、その後の経過についても確認をさせていただきます。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	17	0	0	0		
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	13	4	0	0	とっても楽しみに通っています。	
	29	事業所の支援に満足していますか。	17	0	0	0		利用者様にも保護者様にも満足いただけるようなサービス提供が出来るよう、事業所全体で努力をまいります。

公表	事業所における自己評価結果
----	---------------

事業所名	こどもサポート教室「きらり」清須校					公表日	令和7年2月15日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○				
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		5人の常勤指導員がおり、配置数は適切だと思います。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○				
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		毎朝、全職員で清掃をし、清潔を保っております。スペースには限りがありますので、出来る限り不要な物は置かないようにしております。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		4つの個別支援スペースを用意しております。		
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		日頃から業務改善は意識しており、改善提案があった場合は職員全員で検討、合意を取ってから実施しております。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		保護者様からいただいた評価表を参考に、自事業所の課題を考え、改善につなげております。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		毎朝の朝礼や、月例の会議で業務改善について話し合う時間を設けております。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	第三者による外部評価は行っていないが、毎年内部監査を実施している。	第三者評価は必要に応じて検討します。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		社内の研修が主で、その他にも児童部会での研修や外部研修に参加しております。		
適切な支援の	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		支援プログラムはホームページにて公表しております。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○				
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○				
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○				
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		社内で統一されたフェイスシートとアセスメントシートを使用しております。		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		令和6年7月に改訂されたガイドラインを職員で読み合わせ、共通理解を		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。		○	基本は個別療育なので、各担当が個別に活動プログラムを立案しております。	チームで活動プログラムを考える機会が少ない。	

提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○			
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○		保護者様へのモニタリング、指導員へのモニタリング、児童発達支援管理責任者による支援見学をもって原案を作成し、会議を開き、本計画を作成しております。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○			
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		支援記録は漏れなく書くことができおり、支援内容やねらい、その時の様子等を具体的に記載している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		最長6か月、児童によっては3～5か月でモニタリングを実施している。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		基本的に児童発達支援管理責任者と支援担当の職員が参加しております。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。		○		これまで医療と連携する機会がありませんでした。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		弊事業所に通っている児童の様子を見るために近隣保育員へ見学に行くなど、相互理解を図っております。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。		○		学校との情報の共有は弊事業所の課題でもあり、今後学校との接点を作るよう努力いたします。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外泊研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。		○		児童発達支援センターが出来たばかりなので、今後連携してまいります。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		○		必要性があれば検討します。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		支援のたびに約15分、フィードバックをする時間を設けており、支援内容や利用者様の状況について話し合っている。	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○				
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約時に行っている。		
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○				

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		日々のフィードバックの機会以外にも、必要に応じて面談機会を設けております。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		○		地域の父母の会には積極的に関与していません。保護者会は今年度なかなか開催ができませんでしたが、今後再開したいと考えております。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		即対応を心がけております。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○			
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		個人ファイルや個人情報の入ったPCは鍵付きキャビネットにて保管しております。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○		必要性があれば検討します。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○			
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		BCPは策定済みで、緊急時の対応フローやエマージェンシーカード作成、防災備品の購入を行い、万が一に備えております。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		フェイスシート、アセスメントシートにて確認しております。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○			
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○			
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○			
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		軽微なことでもヒヤリハット報告書を書くようにしており、今年度も10ケースほど書き、都度予防策を講じております。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		虐待の研修は会社全体の研修と、事業所での研修（虐待対応マニュアルの確認、セルフチェックリストの実施）を行っております。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		身体拘束についての基本的対応は事業所内で共有しており、該当の児童がいた場合、所定の手続きに沿って対応いたします。		